

# 特別活動学習指導案

学習者 附属小学校1年1組 30名

授業者 木村 友哉

## 題材名 1-1 なかよしいっぱいだいさくせん (学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

### 1. 題材の目標

- (1) 学級のみinnなでもっと仲良くなるための方法について話し合ったり、仲良くなるための取組を準備・運営したりする活動を通して、みんなで学級生活を楽しくするために、他者と協働して取り組むことの意義を理解することができるようにする。
- (2) 学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践することができるようにする。
- (3) 学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとするようにする。

### 2. 題材の評価規準

	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
全体	みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。
事前	①学級会の役割、基本的な進め方を理解し、話し合いの仕方を身に付けている。 ②簡単な役割分担や準備の仕方を身に付けている。	①学級生活を楽しくするために、学級の問題を考え、表現している。 ②解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図っている。	①学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら話し合いや活動の準備に取り組もうとしている。
実践中	③決めたことを実践するために必要な方法を身に付けている。	③合意形成したことについて仲よく助け合って実践している。	②合意形成したことについて、見通しをもったり振り返ったりしながら集団活動に取り組もうとしている。
事後	④他者と協働して取り組むことの意義を理解している。		③集団活動に取り組んだことをもとに、自己や集団の良さや課題について振り返り、今後の生活に生かそうとしている。

### 3. 指導と評価の計画（8時間）

#### 【学習の素地として必要な授業の展開】

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準〈評価方法〉 指導の改善に生かす評価「・」 総括資料とするための記録に残す評価「○」		
		知・技	思・判・表	主体
1	◆学級活動の学習内容について、どんな学習をしていくのか予想をしたりクラスメイトと過ごす意義を確認したりすることを通して、学級活動の学習の意義を理解し学級活動の学習に意欲を持つことができるようにする。			
	○学級活動の授業ではどんな学習をするのかについて考える。（個人→ペアトーク） ○教師の用意した学級活動についてのスライド資料を見ながら、クラスメイトの存在や学級の存在について考え、学級活動の学習の意義や目的を理解する。 ○学級全員が目指したい学級への願いを発表する。	・〈発言分析・ 行動分析〉		・〈発言分析〉
2	◆学級の目指したい姿について、学級全員の「どんな学級にしたいか」という願いを出し合い、グループトークと全体で話し合うことを通して、学級テーマを決定し学級全員のがんばることを決めることができるようにする。			
	○学級活動の学習の意義や目的を再確認する。 ○前時に出し合った目指したい学級の姿を確認し、グループごとに比較し優先したい3つを決める。 ○全員で学級のめあての言葉を考え、決める。			・〈発言分析〉

#### 【本題材の指導と評価の計画（8時間）】

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準〈評価方法〉 指導の改善に生かす評価「・」 総括資料とするための記録に残す評価「○」		
		知・技	思・判・表	主体
1	◆学級のもっと良くしたいことについて、現在の学級の良さや課題について出し合います解決したい課題を比べることを通して、学級の課題を見だし課題解決しようとする意欲が高まるようにする。			
	○学級の良さや課題だと思うことについて出し合う。 ○グループごとに解決したい課題について比較・検討し、優先順位をつける。 ○グループで話し合ったことを発表し、まず解決したい課題を決める。		・①〈発言分析・記録分析〉	・①〈発言分析・記録分析〉
モジュール	兄弟学級である6年1組の児童に、学級活動でどんなことをしたらいいのかや今までどんな活動してきたのかについて、聞き取り調査をする。			
2	◆学級の仲をもっと深めるための活動内容について、6年生に聞いたことをもとに意見を出し合いグループごとに出た案を比較・検討し学級全体で合意形成することを通して、学級で取り組むことを決めることができる。			

	<p>○6年生に聞いたことをもとに考えを出し合う。</p> <p>○出た意見に質問をする。</p> <p>○グループごとに出た案を比較・検討する。</p> <p>○学級で取り組むことに折り合いをつけて決める。</p>		<p>・②&lt;発言分析・記録分析&gt;</p>	<p>・①&lt;発言分析・記録分析&gt;</p>
朝の会	<p>合意形成して決まった活動内容(なかよしいっぱいまつり)について、どんなお店にするのか、そのためにどんなものを作るのかについてグループごとに話し合い、計画を立てる。</p>			
3 ・ 休み時間	<p>◆「なかよしいっぱいまつり」に向けて、グループごとに話し合い、折り合いをつけながら自分たちのお店の準備をする。</p>			
	<p>○グループで話し合っ、この時間に何をだれが作るのか確認し合う。</p> <p>○おまつりでだすお店の準備をグループごとに進める。</p>	<p>・②&lt;発言分析・行動分析&gt;</p>		<p>・②&lt;発言分析・行動分析&gt;</p>
4	<p>◆学級の仲をもっと深めるための「なかよしいっぱいまつり」を、仲よく助け合っ実践することができる。</p>			
	<p>○本時の活動の見通しを持つ。</p> <p>○「なかよしいっぱいまつり」を実践する。</p> <p>○振り返りを成長ノートに書く。</p>	<p>・③&lt;発言分析・記録分析&gt;</p>	<p>・③&lt;発言分析・記録分析&gt;</p>	<p>○②&lt;発言分析・記録分析&gt;</p>
	<p><b>【想定される児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかをふかめることができました。</li> <li>・ともだちときょうりよくしておみせのじゅんぴができました。</li> <li>・たくさんおみせにおきゃくがきてくれてうれしかったです。</li> </ul>			
5	<p>◆「なかよしいっぱいまつり」を振り返り、良かった点とうまくいかず解決したい・もっと良くしたい点を出し合い、問題を見出すことができる。</p>			
	<p>○前時に書いた振り返りを確認し、「なかよしいっぱいまつり」を思い出す。</p> <p>○良かった点やもっと良くしたい点を出し合う。</p> <p>○次回に解決したいことを決める。</p>		<p>○①&lt;発言分析・記録分析&gt;</p>	
	<p><b>【想定される児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じかんはいぶんをかんがえていなかったから、じかんをかんがえたほうがいいなあ。</li> <li>・ぜんたいをすすめるしかいのひがいたほうがいいんじゃないかなあ。</li> <li>・もっとがっきゅうのみんなとはなしあえるようにしたいなあ。</li> <li>・けんかがおきちゃったから、けんかしないでできるようにしたいなあ。</li> </ul>			
6 本時	<p>◆「なかよしいっぱいまつり」をして見出された学級の問題について、どのように問題を解決していくか改善策を出し合い、グループごとに出た案を比較・検討し学級全体で合意形成することを通して、「なかよしいっぱいまつり」の内容や工夫を考えることができる。</p>			

<p>○めあてや話し合うこと、理由を確認する。</p> <p>○どんな工夫ができるかについて考え、全体で出し合う。</p> <p>○次回の工夫として必要だと思うものをグループで検討する。</p> <p>○次回に生かす工夫を決定する。</p>	<p>・①&lt;発言分析・行動分析&gt;</p>	<p>○②&lt;発言分析・記録分析&gt;</p>	
<p><b>【想定される児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「じかんのはんぶんでおみせをするひとおきゃくさんのひとでこうたいしたらいいんじゃない」</li> <li>・「おきゃくさんは、ぼうしをかぶってわかりやすくしたらどうかな」</li> <li>・「じゅんぴができてないところから、みんなであつまってじゅんぴするじかみをきめたら？」</li> </ul>			
<p>7</p> <p>◆学級の仲をもっと深めるための「なかよしいっぱいまつり」を、前時の話合いで決まったことを生かしながら、仲よく助け合って実践することができる。</p> <p>○本時の活動の見通しを持つ。</p> <p>○前時の話合いで決まったことを生かしながら、「なかよしいっぱいまつり」を実践する。</p> <p>○振り返りを成長ノートに書く。</p>		<p>・③&lt;発言分析・行動分析&gt;</p>	
<p>◆「1の1なかよしいっぱいだいさくせん」の活動について、事前から事後までの自分たちの様子の動画を視聴したり、良かった点やもっと良くしたい点について話し合ったりすることを通して、今後の学級生活につなげることを考えることができる。</p>			
<p>8</p> <p>○事前から事後までの自分たちの様子の動画を視聴し、活動の全体を振り返る。</p> <p>○「1の1なかよしいっぱいだいさくせん」をして、学級の良かった点やもっと良くしたい点を出し合い検討する。</p> <p>○今後の学級活動で解決していきたい課題の見通しを持つ。</p>	<p>○④&lt;発言分析・行動分析&gt;</p>		<p>・③&lt;発言分析・行動分析&gt;</p>
<p><b>【想定される児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなできょうりよくしておまつりをしたらたのしかったなあ。</li> <li>・みんなでなかをふかめることができたのでよかった。これからも、もっとなかをふかめたいなあ。</li> <li>・みんなですると、ひとりでするよりもたのしいなあ。</li> </ul>			

4. 本時の指導（6/8）

<b>本時のねらい</b>	「なかよしいっぱいまつり」をして見出された学級の問題について、どのように問題を解決していくか改善策を出し合い、グループごとに出た案を比較・検討し学級全体で合意形成することを通して、もっと学級の仲をふかめるような内容や工夫を考えることができるようにする。
<b>評価規準</b>	「なかよしいっぱいまつり」をして見出された学級の問題について、もっと学級の仲をふかめるような内容や工夫を考えている。
<b>具体的な児童の姿</b>	「じかんのはんぶんでおみせをするひとおきゃくさんのひとでこうたいしたらいいんじゃない」  「おきゃくさんは、ぼうしをかぶってわかりやすくしたらどうかな」 「じゅんぴができてないところから、みんなであつまってじゅんぴするじかんをきめたら？」 「でも、こうたいしてもてんいんのタイミングがかさなったらはなせないんじゃない？」 「ともだちどうしてこえをかけあえば、おふざけがなくなるんじゃないかな？」

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ◎評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て	準備物
5	1. 話し合うことやめあてなどを確認する。	〇自分の考えを持ったうで話合いに入れるよう、事前に成長ノートにそれぞれの考えを書いておくようにする。  めあて：なかをふかめられるようなくふうをかんがえよう！  はなしあうこと①：けんかやおふざけをするひとがいなくなるにはどうするか？ はなしあうこと②：みんながおきゃくとてんいんのりょうほうできるようにするは どうするか？  りゆう： 「なかよしいっぱいまつり」をしたけど、けんかやおふざけをするひとがいたり、 ずっとおみせをするひとがいたりして、みんなとかかわることができなくて、なか をふかめることができなかつたから。	成長ノ ート
15	2. けんかやおふざけをするひとがいなくなるにはどうするか？について、グループで考えを出し合い検討した後に学級全体で話し合い、次回に生かす工夫を学級全体で折り合いをつけながら決定する。	〇学級全体で、けんかやおふざけをするひとがいなくなるにはどうするかについて意見を出し合い、一人ひとりが工夫について理解できるようにする。 ・個人が工夫を出したあと、質問の時間をとるようにして、全員が話合いの土台にのれるようにする。 ※あらかじめ考えておいたものを発表するようにする。  〇グループで話し合い、実践上の工夫を比較・検討する。 ・グループで話したことを記録できるように、グループに一つホワイトボードを使えるように準備する。 ※黒板の写真を、ロイロノートで送り、板書をもとに話し合えるようにする。 ※1回目の「なかよしいっぱいまつり」の動画や写真をもとに話し合えるように、子どもたちにロイロノートで送っておく。  〇グループで話し合ったことをもとに、「いけんのまとめかた」を生かしながら、学級全員で納得できるようにする。	



		<p>・1つをえらぶのではなく、生かしたいものをえらべるようにする。</p> <p>◎「なかよしいっぱいまつり」をして見出された学級の問題について、もっと学級の仲をふかめるような内容や工夫を考えている。〈発言分析・記録分析〉</p> 	
15	<p>3. みんながおきゃくとてんいんのりょうほうをできるようにするにはどうするか？について、グループで考えを出し合い検討した後に学級全体で話し合い、次回に生かす工夫を学級全体で折り合いをつけながら決定する。</p> 	<p>○みんながおきゃくとてんいんのりょうほうをできるようにするにはどうするかについて意見を出し合い、一人ひとりが工夫について理解できるようにする。</p> <p>・個人が工夫を出したあと、質問の時間をとるようにして、全員が話し合いの土台にのれるようにする。</p> <p>※あらかじめ考えておいたものを発表するようにする。</p> <p>○グループで話し合い、実践上の工夫を比較・検討する。</p> <p>・グループで話したことを記録できるように、グループに一つホワイトボードを使えるように準備する。</p> <p>※黒板の写真を、ロイロノートで送り、板書をもとに話し合えるようにする。</p> <p>○グループで話し合ったことをもとに、「いけんのまとめかた」を生かしながら、学級全員で納得できるようにする。</p> <p>・1つをえらぶのではなく、生かしたいものをえらべるようにする。</p> <p>◎「なかよしいっぱいまつり」をして見出された学級の問題について、もっと学級の仲をふかめるような内容や工夫を考えている。〈発言分析・記録分析〉</p> <p>○話し合うことの2つをまとめ終えて時間が余っているようであれば、活動を進めるようにする。</p>	
10	5. 本時の振り返りを行う。	<p>○めあてについての振り返りを、ロイロノートに吹き込むようにする。</p> <p>・自分自身の振り返りだけでなく、友達の高さや頑張りについても振り返るようにするために、振り返りの視点を与えるようにする。</p> <p>○全体で交流させる。</p>	

### 【成果】

- ・今回の議題は、一度実践した活動から振り返りを経て出た子供たち自身の問題である。一度活動をしているからこそ、全員が議題について同じ土俵にのって話し合いを始めることができた。
- ・ロイロノートの録音機能を利用したことで、ひらがなを書いたり文を書いたりすることに時間がかかる児童も授業時間内で振り返りを行うことができた。
- ・1年生の児童でも話しやすいように、学級会の型を子供たちと共に作り上げていたことで、児童が自信をもって話し合いに望んでいた。

### 【課題】

- ・話し合うことの一つ目が「けんかやおふざけをしないようにするためにどうするか」であったが、学級全員で合意形成していく内容なのか、個々人が意思決定していく内容なのか、教師自身が子供たちの実態に合わせて明確に判断する必要がある。
- ・1年生の発達段階において、学級活動45分の授業時間の運用の仕方について考え直す必要がある。
- ・子供たちがより良く話し合うことができるように、話し方やホワイトボードの書き方などの指導も日々の中でしておく必要がある。